



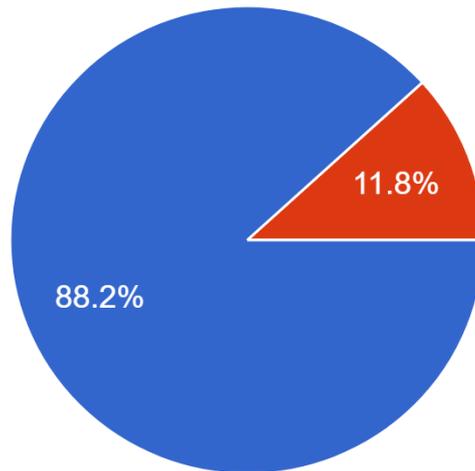
HOKKAIDO
UNIVERSITY

2025年度
福島第一原子力発電所、廃炉資料館
並びにJAEA見学
アンケート結果

北海道大学・工学研究院
原子力安全先端研究・教育センター

参加者情報(1):性別

性別について
17件の回答



- 男性
- 女性
- 回答しない



愛知大学・経済学部・経済学科・四年

岐阜大学工学部機械工学科1年

早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 3年

早稲田大学・創造理工学部・社会環境工学科・2年

早稲田大学創造理工学部社会環境工学科 学部3年

早稲田大学創造理工学部社会環境工学科2年

早稲田大学創造理工学部社会環境工学科3年生

東京都市大学・理工学部・原子力安全工学科・4年

東京都市大学・理工学部・原子力安全工学科・学部2年

東北大学・工学研究科・量子エネルギー工学専攻・修士2年

東北大学大学院工学研究科 博士前期課程2年

同志社大学理工学部数理システム学科1年

八戸工業高等専門学校 産業システム工学科 機械・医工学コース 5年

福井大学工学研究科安全社会基盤専攻原子力安全工学コース修士課程1年

福井大学工学研究科安全社会基盤専攻原子力安全工学コース修士課程1年

北海道大学工学院エネルギー環境システム専攻修士2年

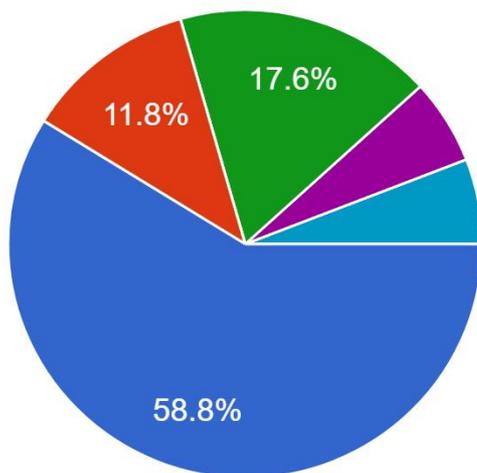
名城大学法学部法学科1年



参加目的

参加目的（複数回答可能）

17 件の回答



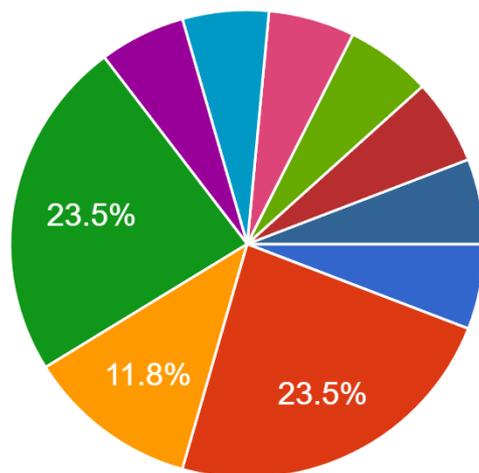
- 実習内容
- 開催地
- 開催時期
- 指導教員からの勧め
- 教授からの勧め (小峯秀雄教授)
- 履修している講義の教授(小峯秀雄教授)からの勧め



認知方法

本実習の実施をどのように知りましたか？（複数回答可）

17件の回答



- 大学・職場等への直接連絡
- 知人に聞いて
- 学会等のメーリングリスト
- ホームページ等SNS
- JAEA宮村様より紹介
- 所属大学の教員から
- 教授からの勧め（小峯秀雄教授）
- 先生からの紹介

▲ 1/2 ▼



認知方法・参加目的(具体的に)

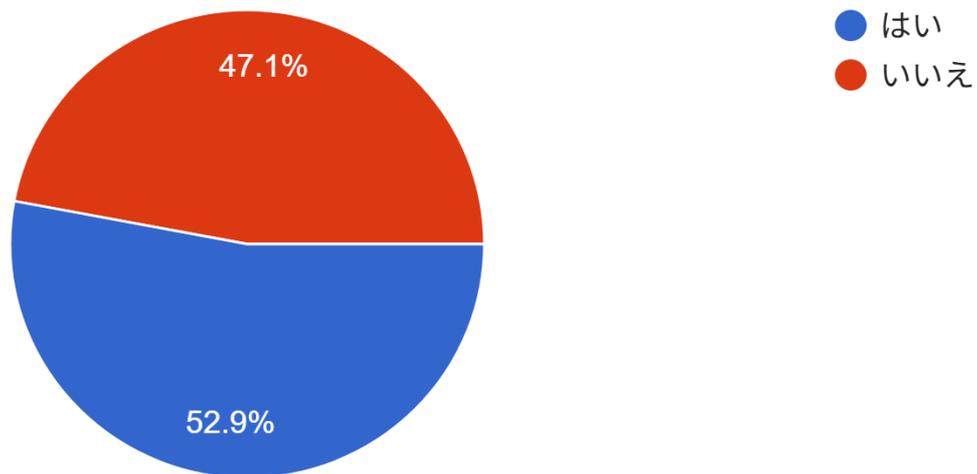
- 教授からメールで案内をいただき、土木科の数人で応募しました。
- 先生から本実習の紹介メールをいただき、参加を決定しました。
- 私は、放射性廃棄物の緩衝材・埋め戻し材として使われている「ベントナイト」の研究をされている教授の講義を履修しております。先生は、日ごろから様々な研究や企業の情報などを学生に共有してくださいます。そのなかの一つとして、今回の見学会について教えていただきました。また、サークルメンバーの仲間とともに、参加申し込みをいたしました。



知人勧誘

実習参加の勧誘を他の仲間にも行いましたか？

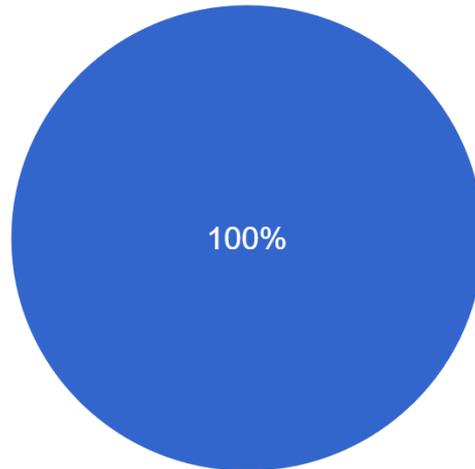
17件の回答



事前手続き

事前案内は適切でしたか？

17 件の回答



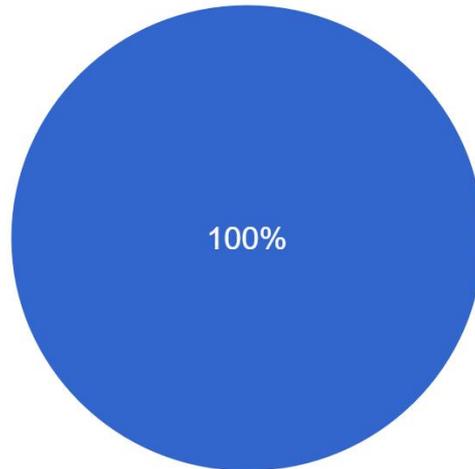
- はい
- いいえ



実習資料(1)

事前学習資料:「福島第一廃炉の現状」について

資料の内容は
17件の回答



- 適切であった
- 改善すべき

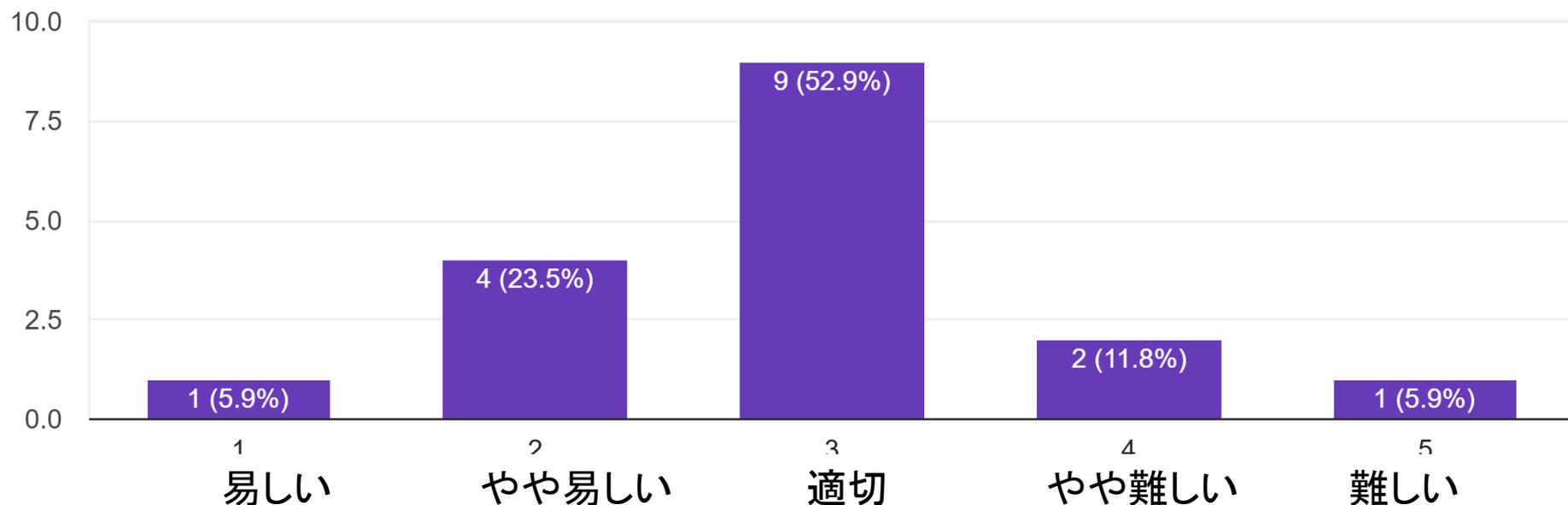


実習資料(2)

事前学習資料:「福島第一廃炉の現状」について

資料の難易度は

17件の回答

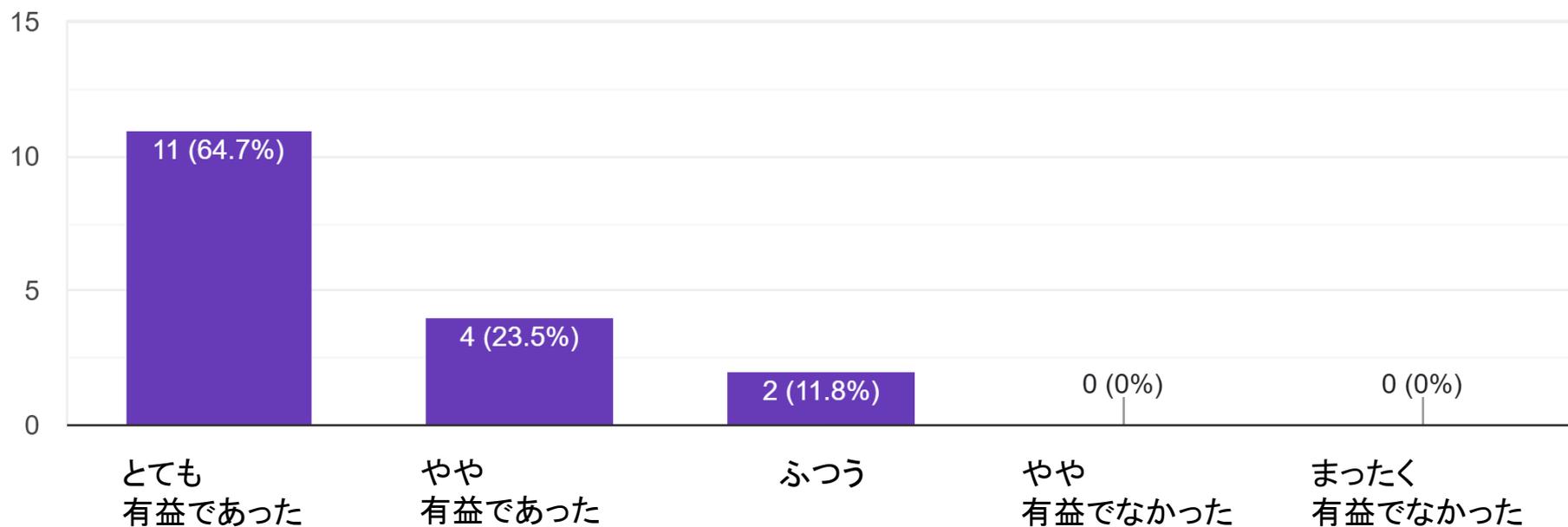


実習資料(3)

事前学習資料:「福島第一廃炉の現状」について

資料の有益度は

17件の回答



実習資料(4)

事前学習資料として、準備して欲しいオンライン講義はありますか？

- リスクコミュニケーション、合意形成
- 少し古い内容のものがほとんどだったので、最新の内容のものが含まれている講義があるといいと思った。
- 廃炉工学について門外漢である土木学生が参加することもあり得ますので、大変身勝手に恐縮ですが、原子力や廃炉を専門とする学生が最初に学ぶ基本的な内容についても、教えていただければなと思います。
- ロボットと原子力工学
- 原子力安全工学の講義などの原発の施設自体への理解を深められる教材を事前学習の範囲に入れると、事故時の流れをより理解出来ると感じた。
- 東日本大震災の影響(原発だけでなく全般的に)についての詳しい動画
- 放射線量などの数値についての講義
- 元原子力規制庁・田中先生の講演の前半の「原子力の基礎」理由:田中先生しかお話しできない「高速炉サイクルがなぜ破綻しているのか」を重点的に伺いたいです。その前提として、既存の核燃料サイクル・高速炉・MOX・再処理についての各主張を簡潔に整理したものもあると、理解が深まり、話のインパクトがより大きくなると思います



専門用語の理解度 (1)

福島第一原子力発電所(以下、「福島第一原発」) 事故の概要について

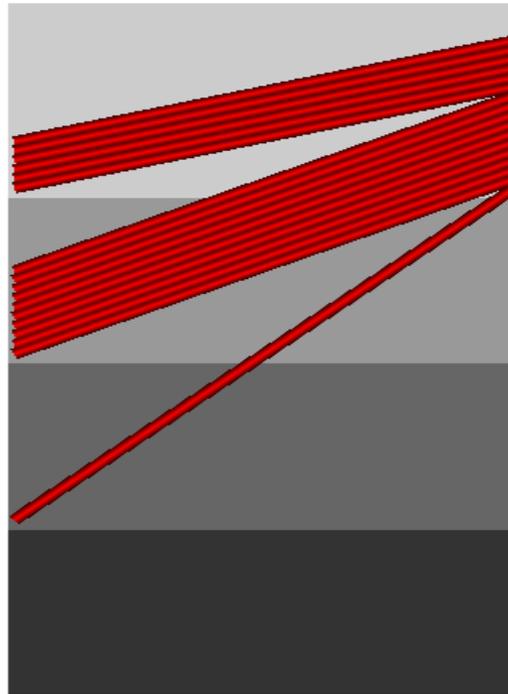
実習前

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (2)

福島第一原発の事故後の対応について

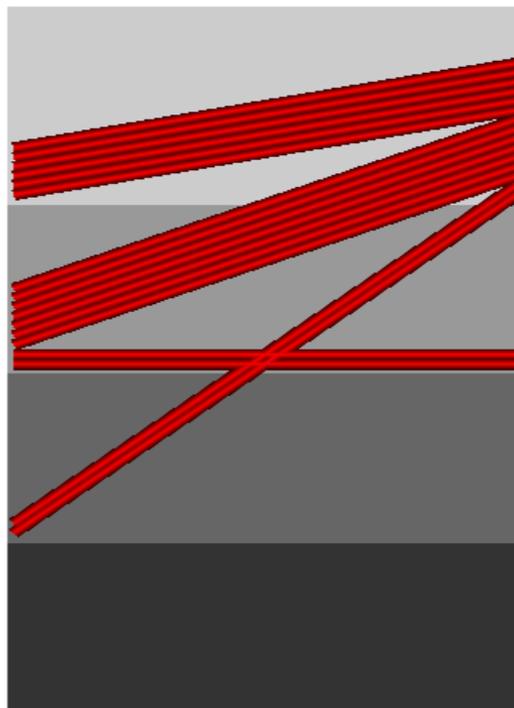
実習前

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (3)

福島第一原発の現場環境の課題について

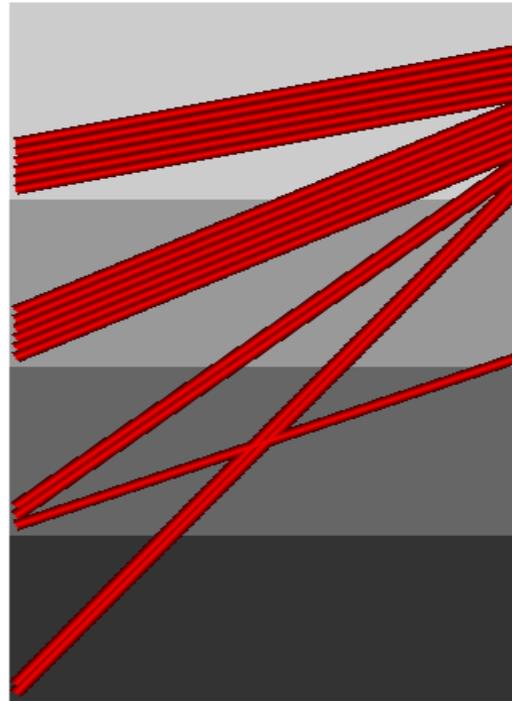
実習前

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (4)

燃料デブリについて

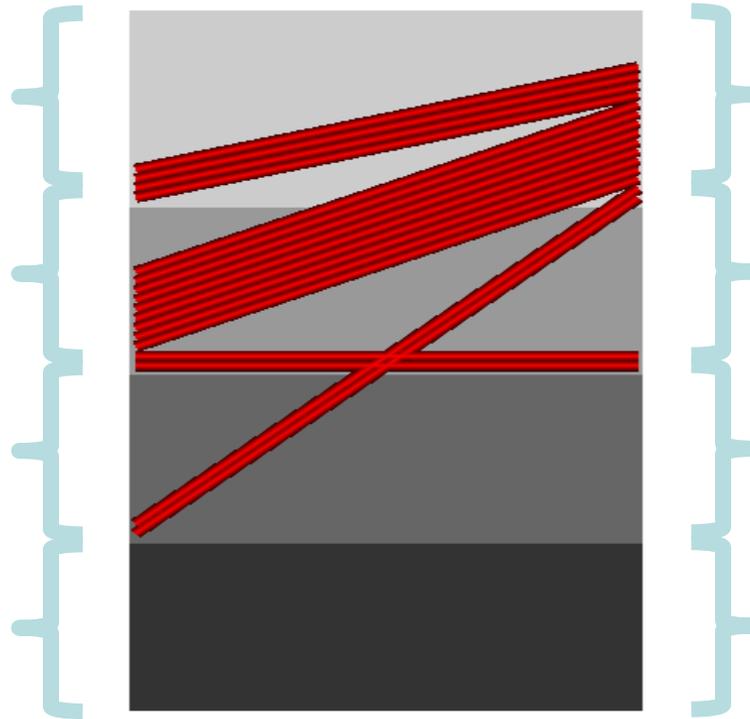
実習前

説明できる

知っている

聞いたことがある

全く知らない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (5)

燃料デブリ取り出しに関わる課題について

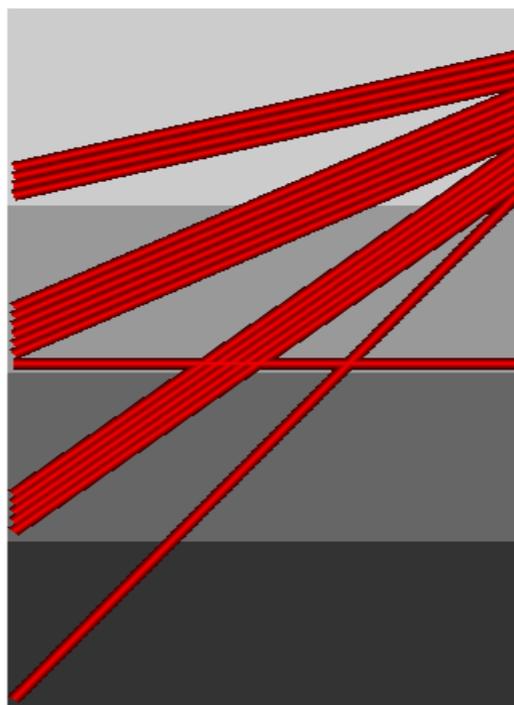
実習前

説明できる

知っている

聞いたことがある

全く知らない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (6)

福島第一原発廃炉作業に関わる遠隔操作ロボットについて

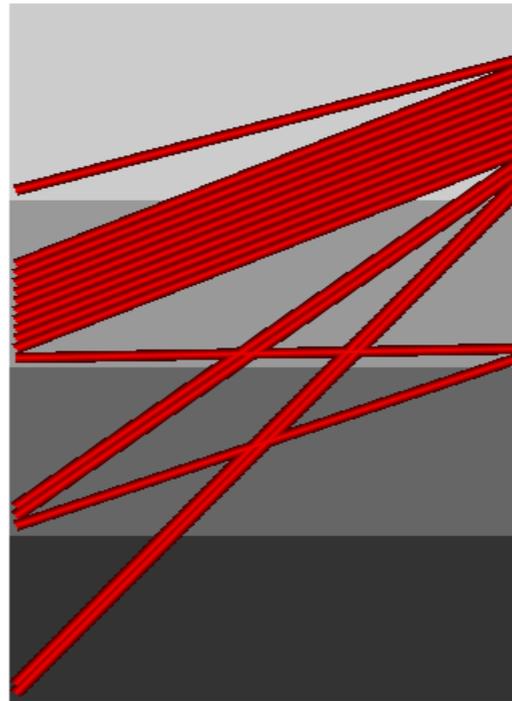
実習前

説明できる

知っている

聞いたことがある

全く知らない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (7)

福島第一原発廃炉作業に関わる分析業務について

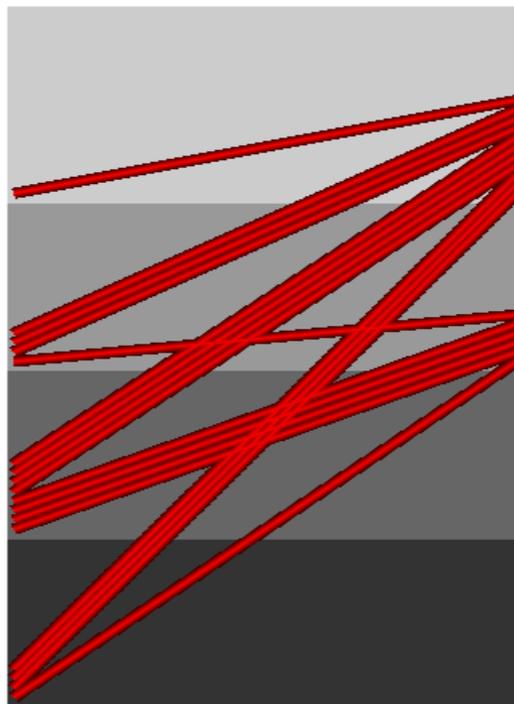
実習前

説明できる

知っている

聞いたことがある

全く知らない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

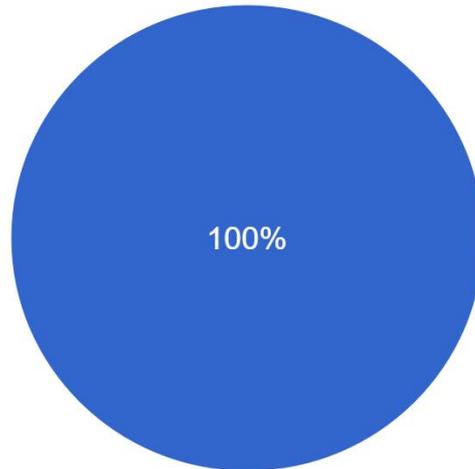
ほとんど知識がない



実習全体

廃炉資料館における感想について

見学の内容は
17件の回答



- 適切であった
- 改善すべき

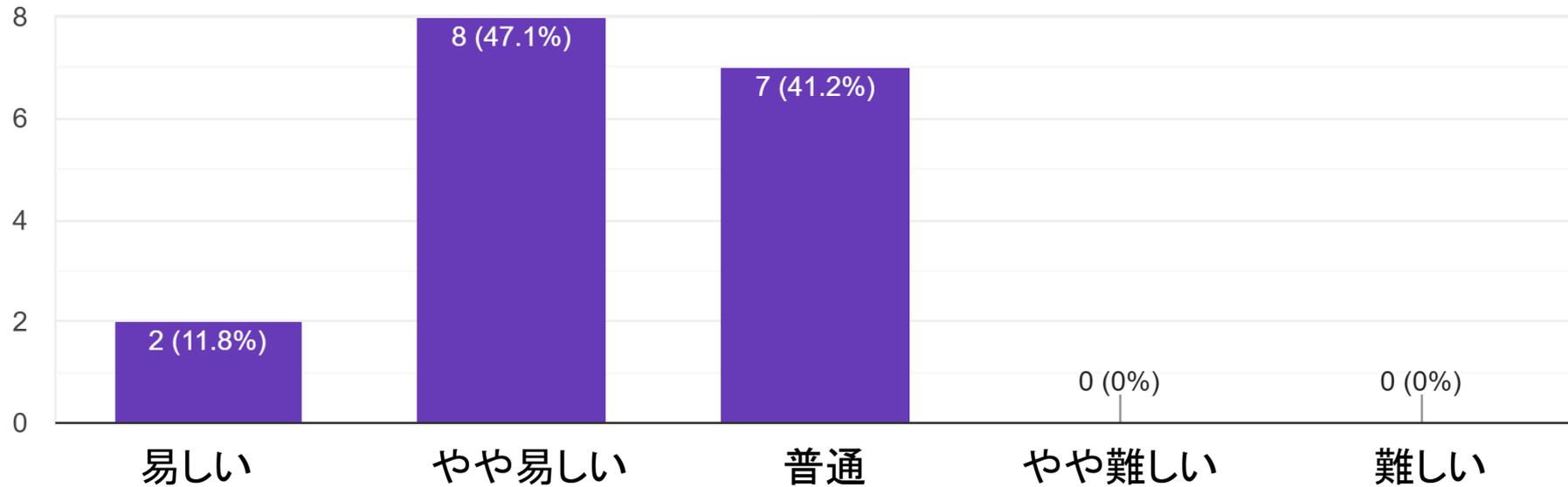


難易度

廃炉資料館における感想について

説明の難易度は

17件の回答

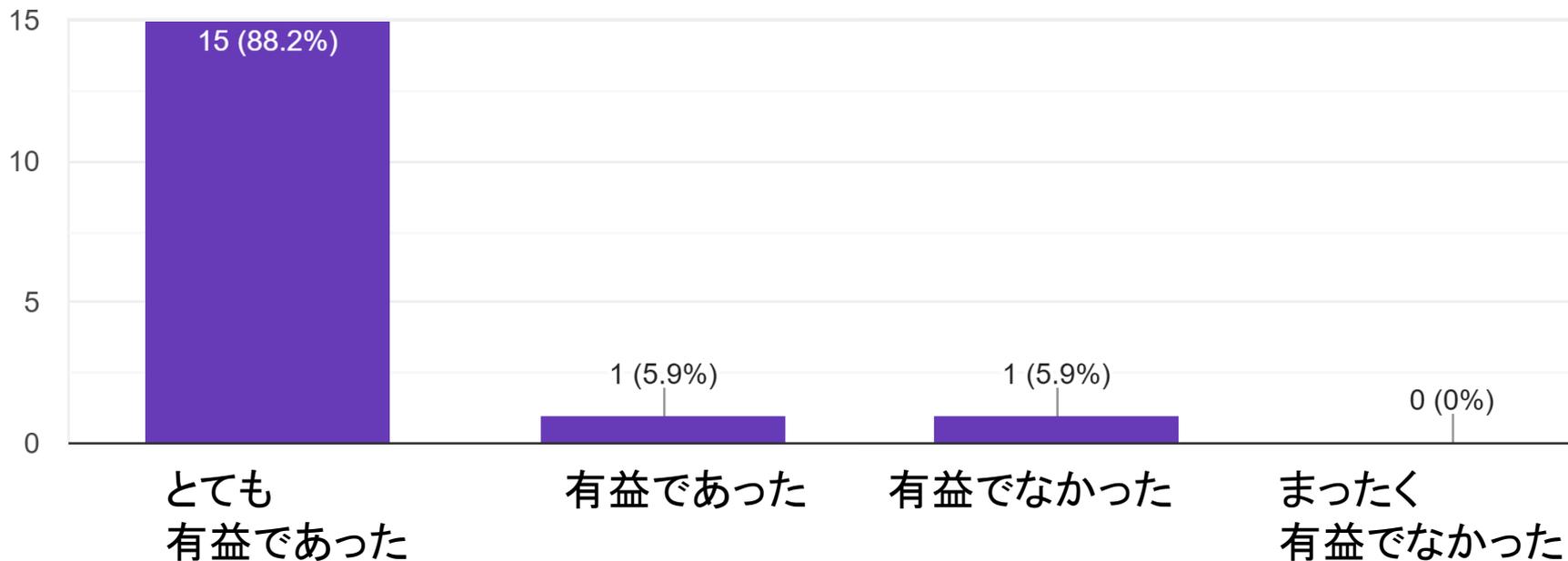


有益度

廃炉資料館における感想について

見学の有益度は

17件の回答

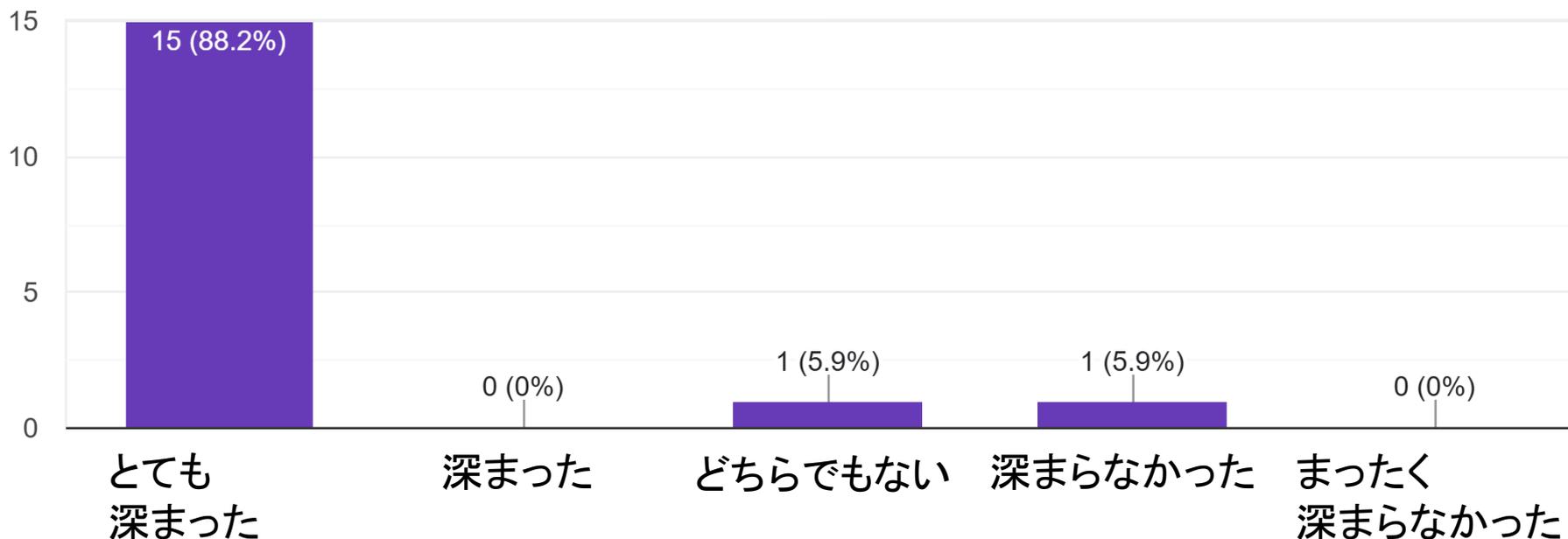


理解度

廃炉資料館における感想について

この見学に参加して、福島第一原子力発電所（以下、「福島第一原発」）
事故等に関する理解が深まりましたか？

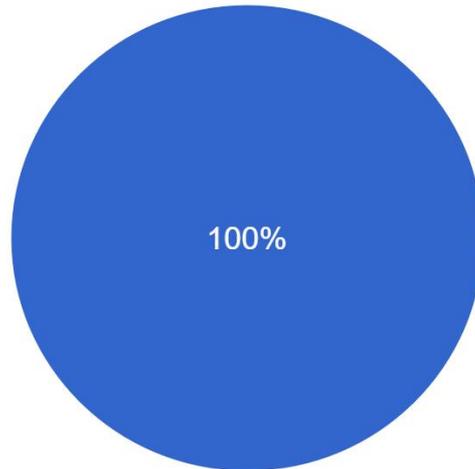
17件の回答



内容

福島第一原発見学における感想について

見学の内容は
17件の回答



- 適切だった
- 改善すべき

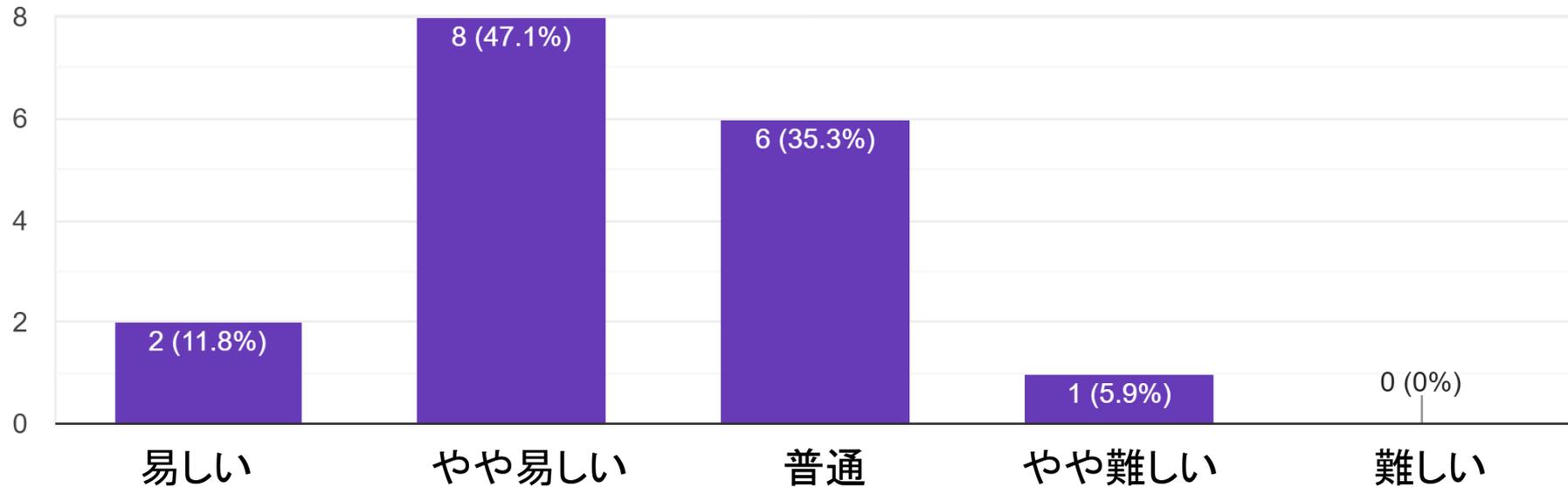


難易度

福島第一原発見学における感想について

説明の難易度は

17件の回答

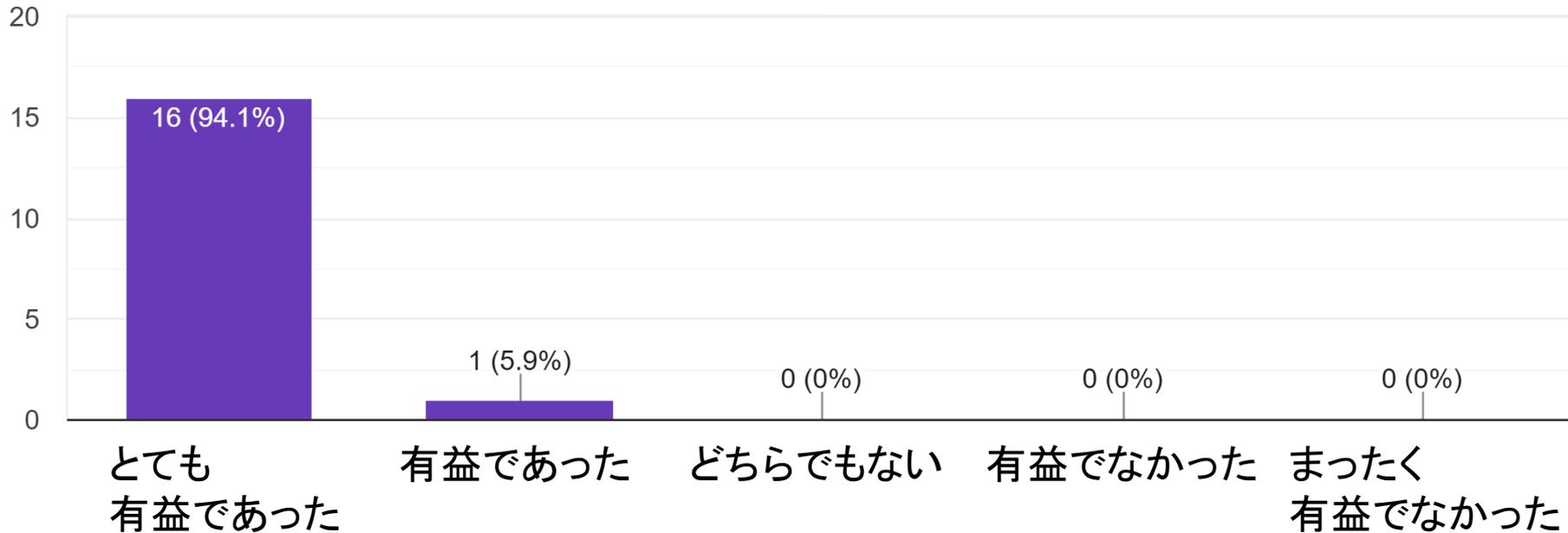


有益度

福島第一原発見学における感想について

見学の有益度は

17件の回答

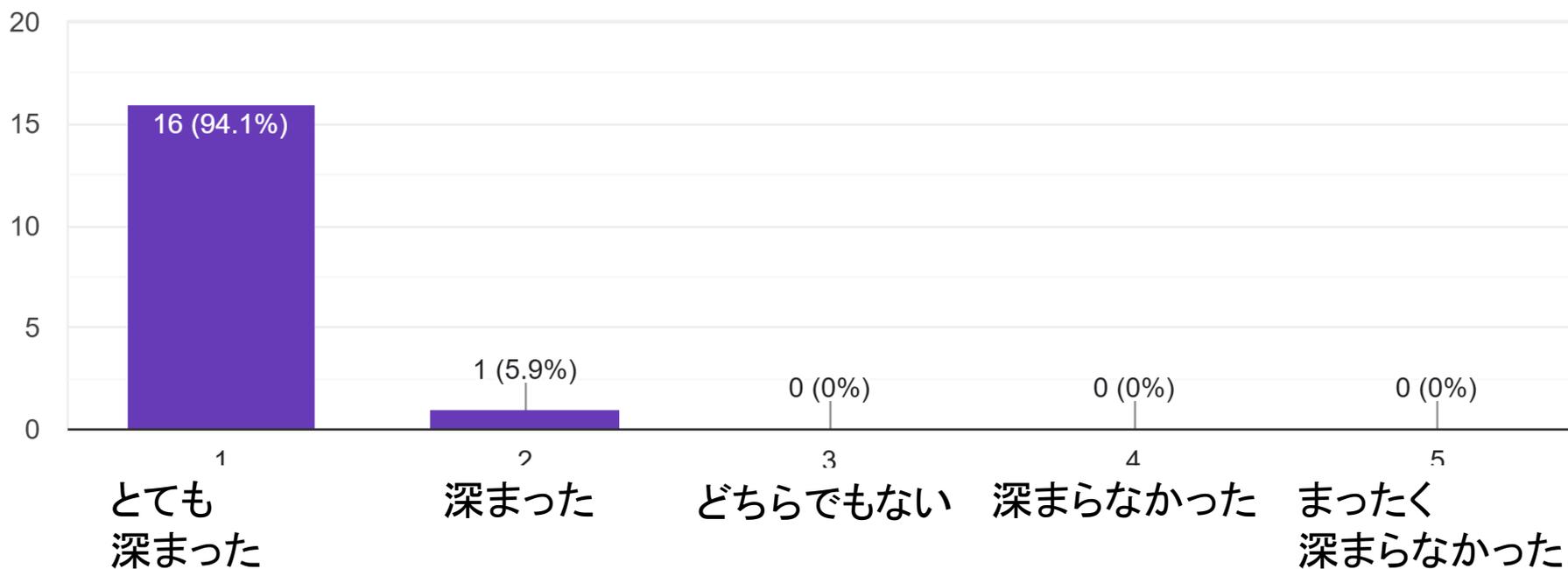


理解度

福島第一原発見学における感想について

この見学に参加して、福島第一原発の現状や廃炉作業に関する理解が深まりましたか？

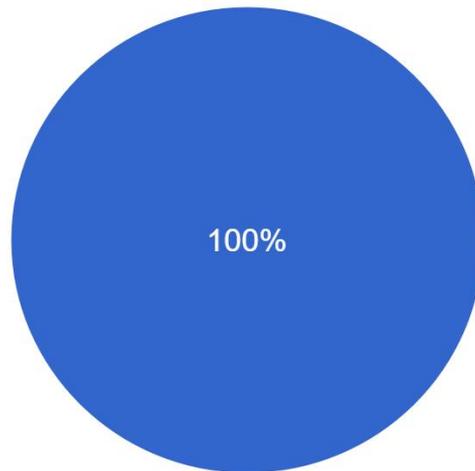
17件の回答



内容

廃炉環境国際共同センター（CLADS）における感想について

見学の内容は
17件の回答



- 適切だった
- 改善すべき

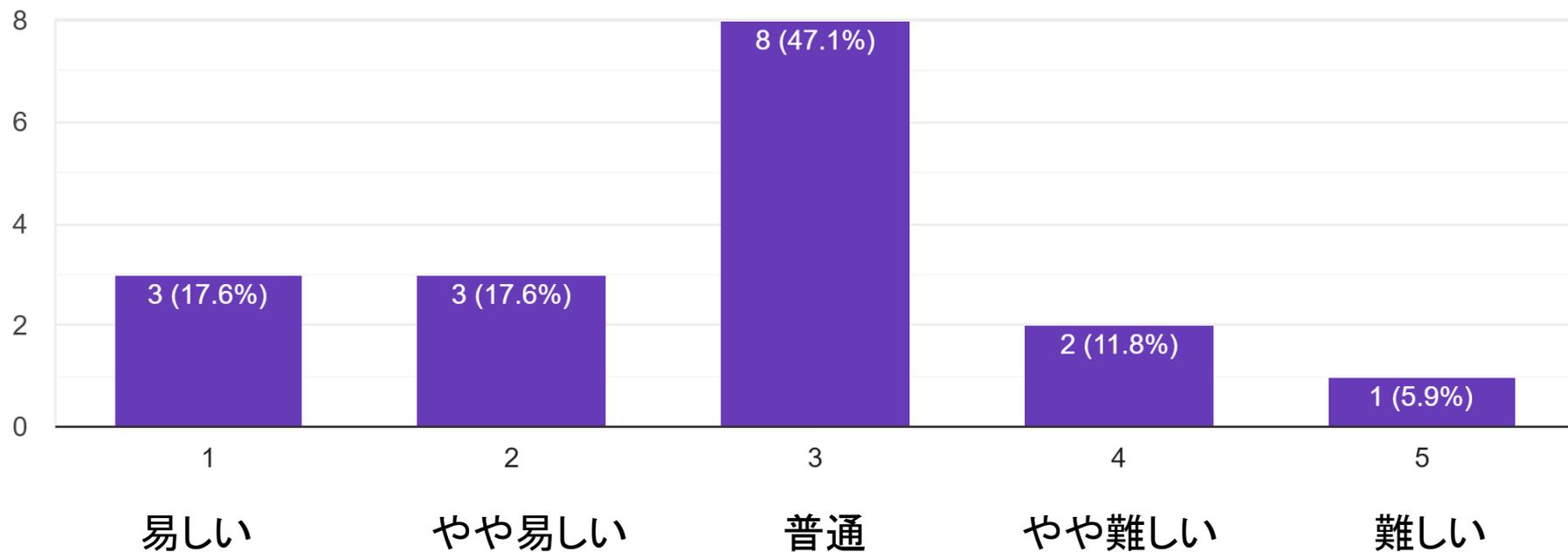


難易度

廃炉環境国際共同センター（CLADS）における感想について

説明の難易度は

17件の回答

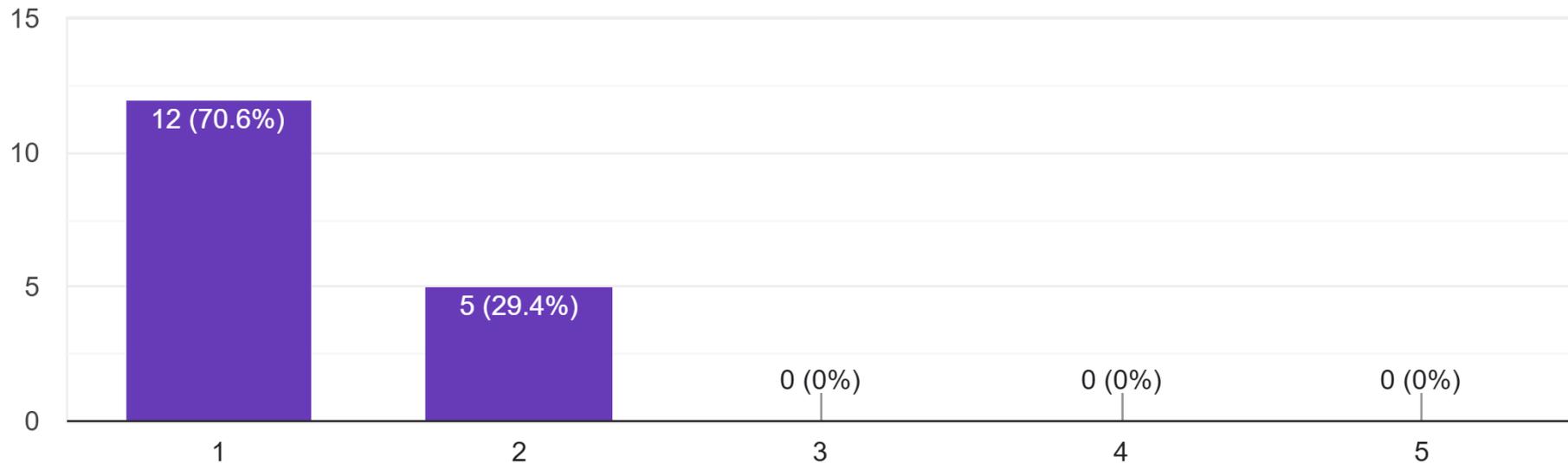


有益度

廃炉環境国際共同センター（CLADS）における感想について

見学の有益度は

17件の回答



とても
有益であった

有益であった

どちらでもない

有益でなかった

まったく
有益でなかった

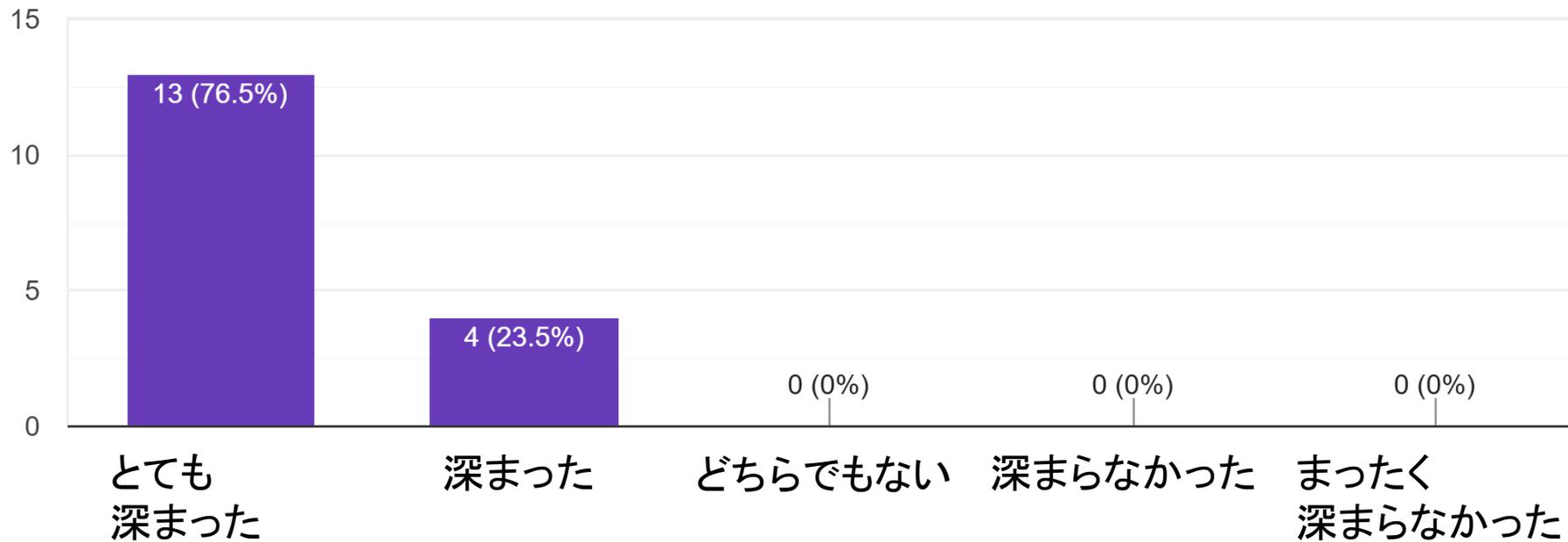


理解度

廃炉環境国際共同センター（CLADS）における感想について

この見学に参加して、廃炉作業に向けた研究・開発に関する理解が深まりましたか？

17件の回答

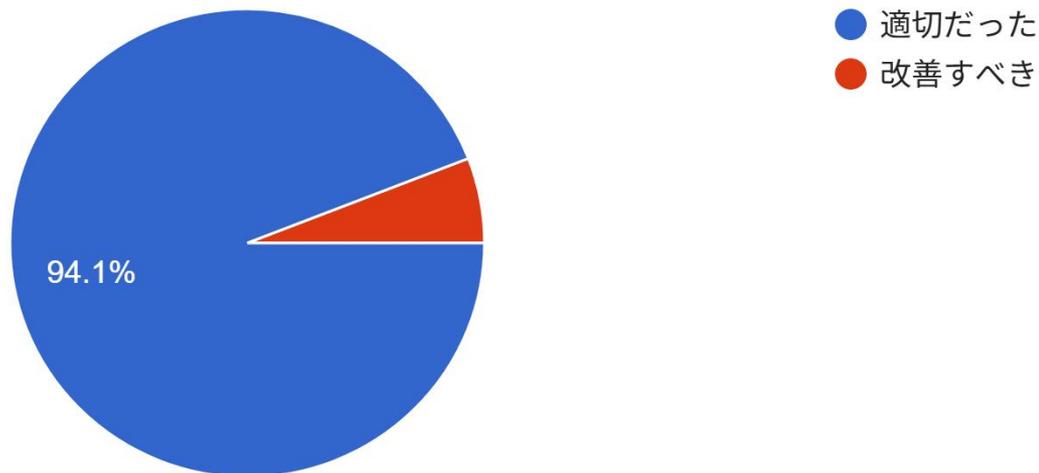


内容

TPT福島テクニカルセンターにおける感想について

見学の内容は

17件の回答



グローブボックスの体験に入る前に一通り操作の説明が欲しかった(片手ずつ入れてくださいとか手を抜く時はゆっくり抜いてくださいとか)

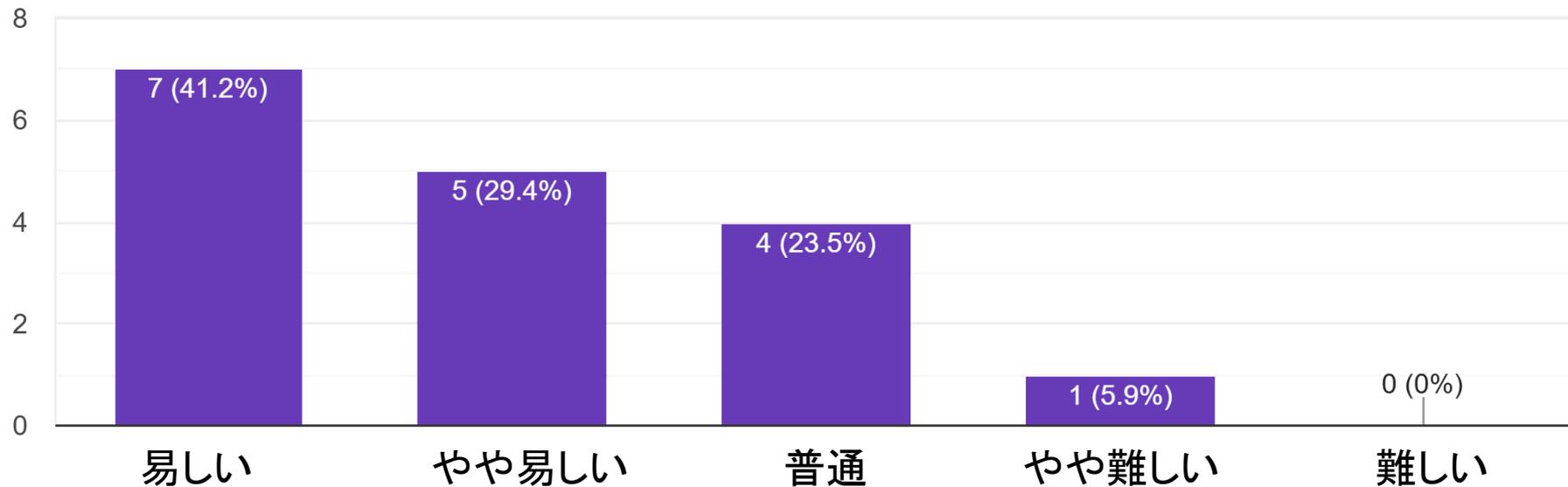


難易度

TPT福島テクニカルセンターにおける感想について

説明の難易度は

17件の回答

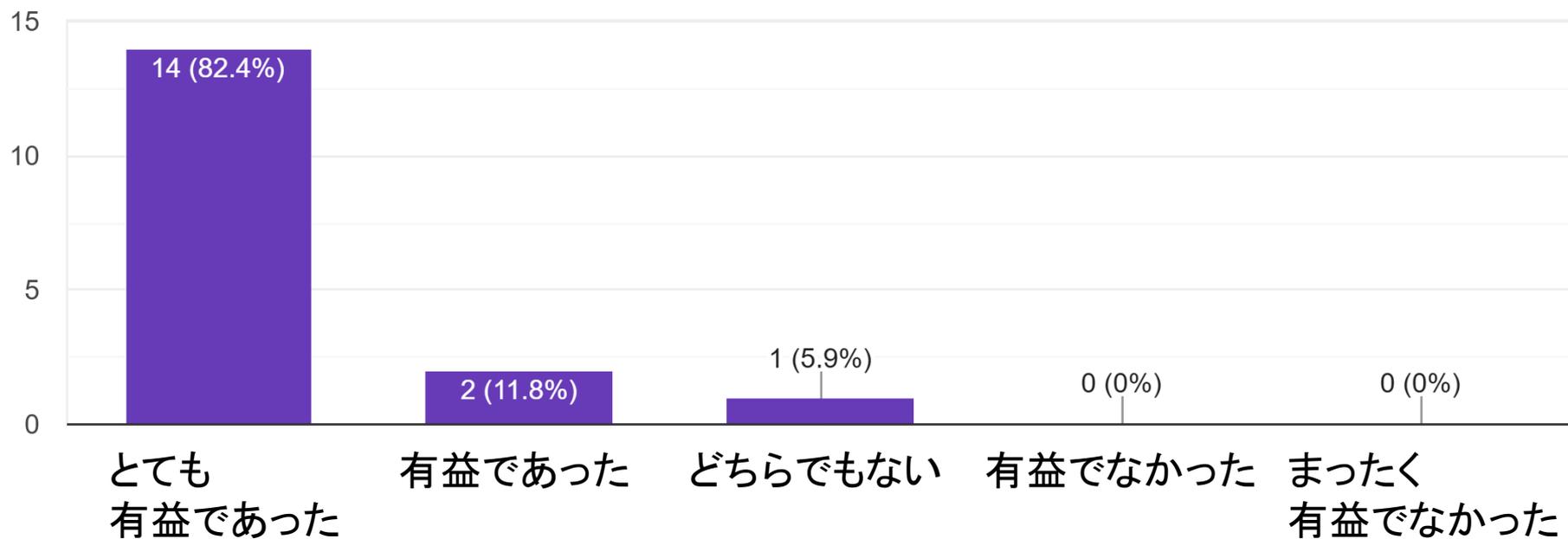


有益度

TPT福島テクニカルセンターにおける感想について

見学の有益度は

17件の回答

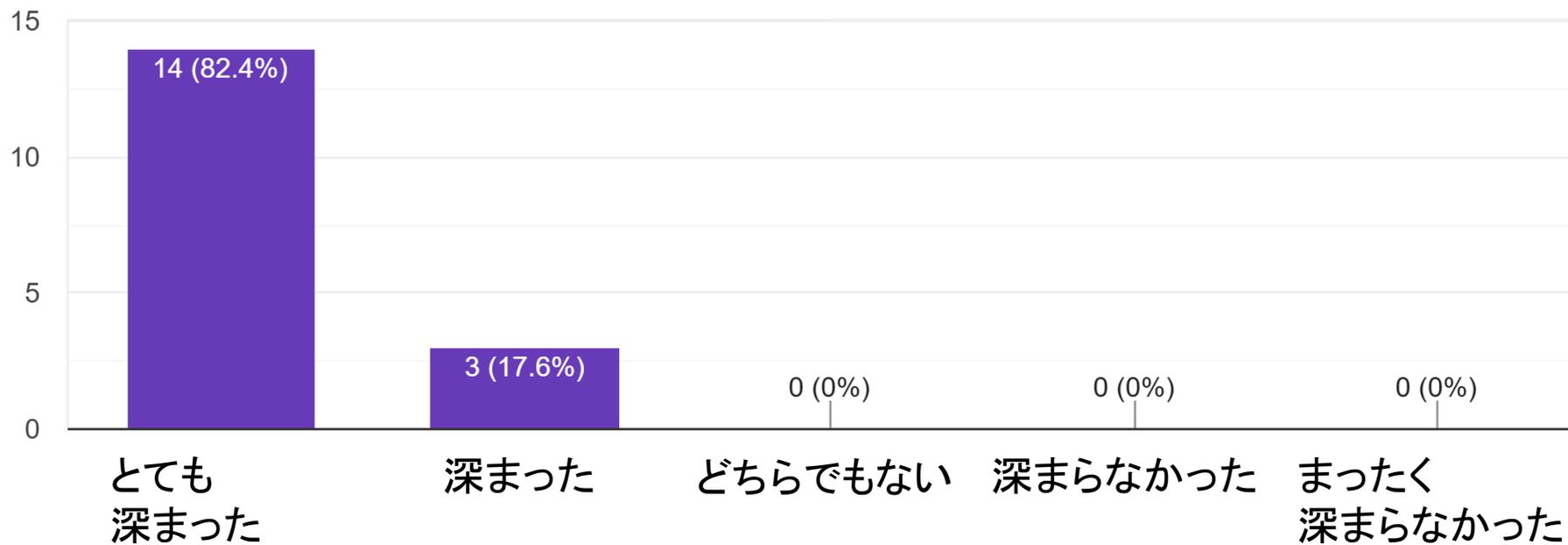


理解度

TPT福島テクニカルセンターにおける感想について

この見学に参加して、廃炉作業に向けた遠隔装置等に関する理解が深まりましたか？

17件の回答

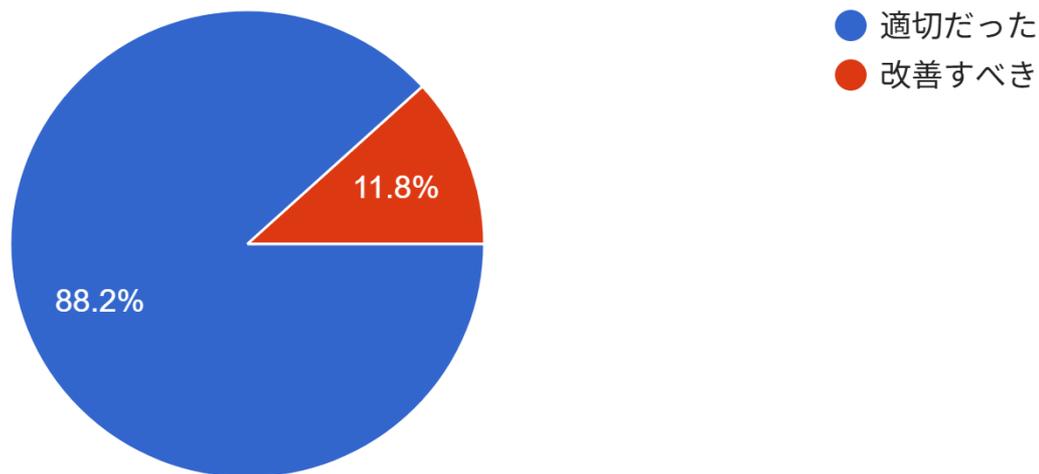


内容

東日本大震災・原子力災害伝承館における感想について

見学の内容は

17件の回答



もう少し見学時間が欲しかったです。あと30分程度。
見学時間が非常に短かった。

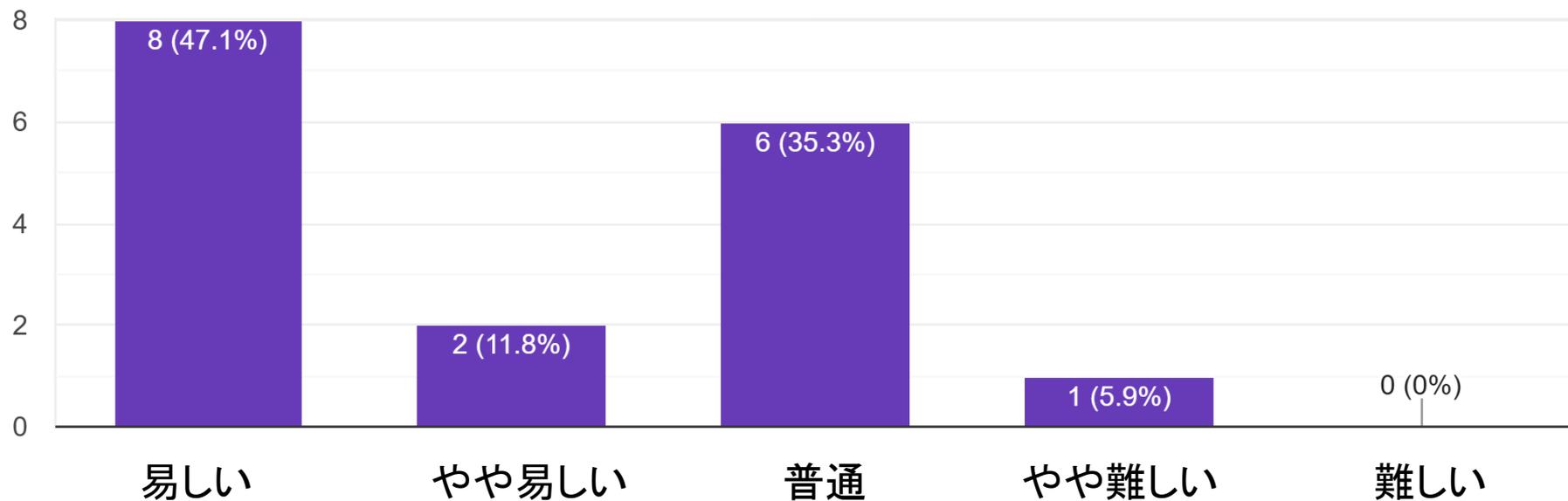


難易度

東日本大震災・原子力災害伝承館における感想について

説明の難易度は

17件の回答

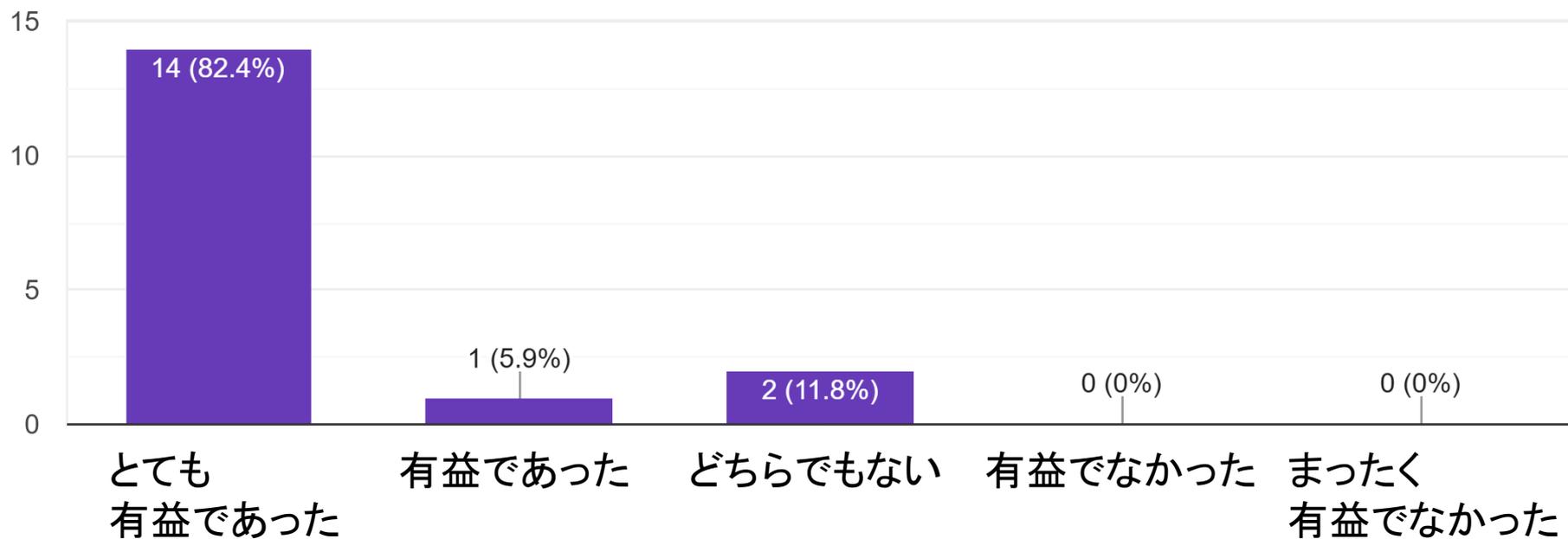


有益度

東日本大震災・原子力災害伝承館における感想について

見学の有益度は

17件の回答

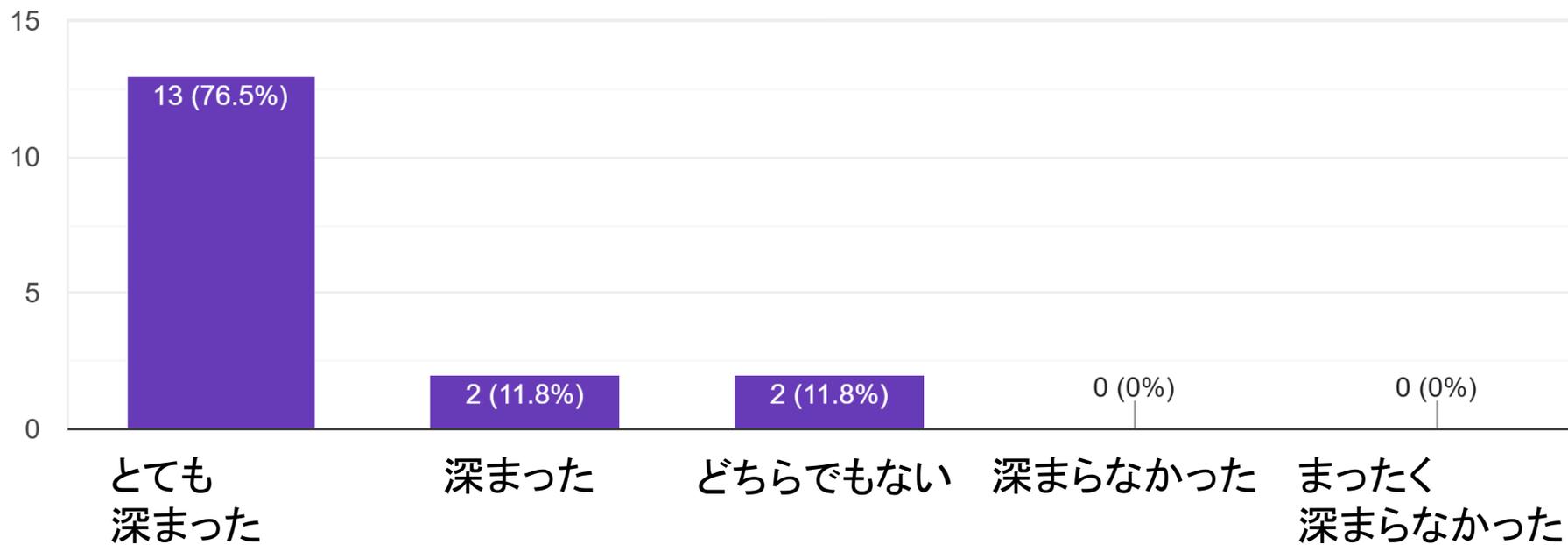


理解度

東日本大震災・原子力災害伝承館における感想について

この見学に参加して、東日本大震災とその影響に関する理解が深まりましたか？

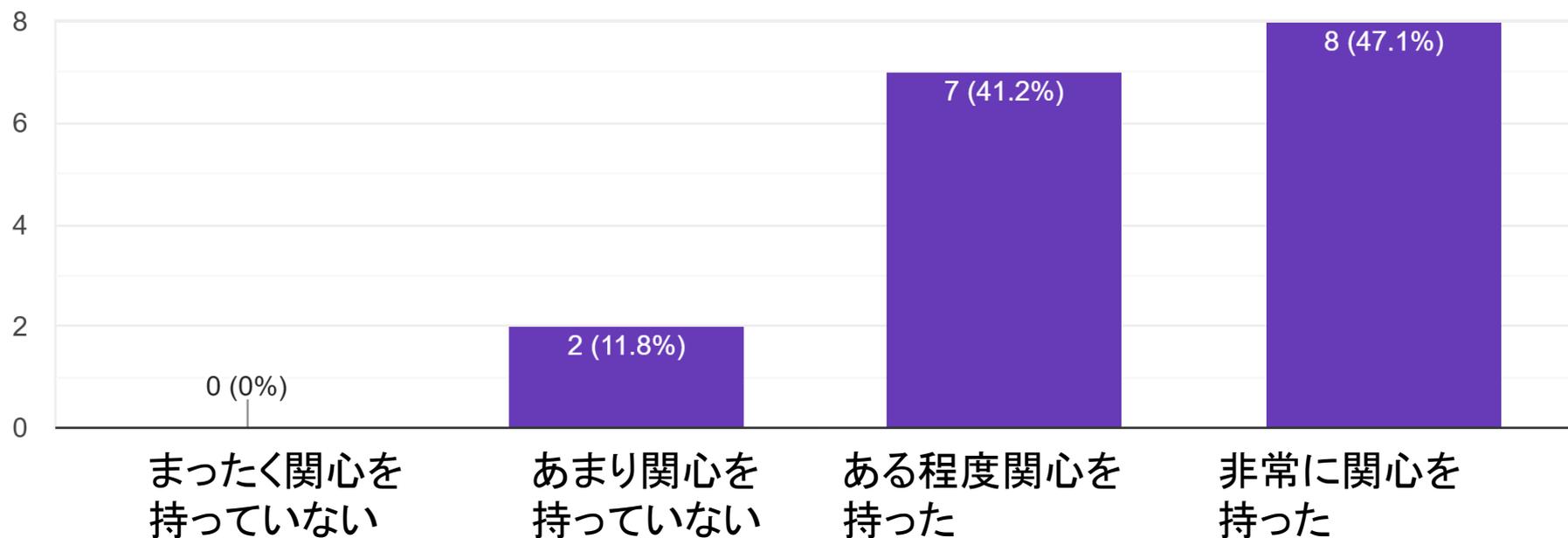
17件の回答



就職先としての関心度

就職先として、原子力・放射線分野に関心を持ちましたか？

17件の回答



感想、アドバイス、要望など(1)

福島第一原子力発電所の職場環境に対する率直な感想をお聞かせ下さい。

- 事故当時より現場環境が改善されていた
- 予想していたものより、随分と和気あいあいとした雰囲気職場だと感じました。
- 職場に入るだけでも、トップレベルに厳重なセキュリティ検査を通る必要があると言う点は、他の地域の職場との大きな違いであると感じた。また、夏場でも長袖デブ従事しなければならないのは、大変だなとも感じた。職場の方達とのお話から、いろいろなところから出向してきた人が多く、たくさんの方が学べる職場だなと思った。
- まず大前提として様々な面から非常に危険な現場であるうえに、現場に入るまでの準備にかなりの時間を使う必要がある点や、いつ終わるか分からない作業を行なっていくといった点で経済合理性を取るのが難しそうだなと感じました。しかしながら、原子力に限らず様々な分野の知識や技術を活用すべき現場でもあり、廃炉作業とともに日本の原子力やその他の技術の向上にも繋がっていく重要な場所だとも認識する事が出来ました。
- 管理区域での飲食が難しい都合上、熱中症対策を十分に行う事が難しそうだと感じた。また、線量計の誤作動に寄るものなのか、警報も良くなっており、それに対する職員の危機感の無さが重大な過失が起こっても判断が遅れるのではないかと少し心配になった。
- 現場内は原発の特性上、厳しく管理されていると感じた。社員の皆様方はとても仲が良いように見え、社員同士の交流も多いと伺うことができた。



感想、アドバイス、要望など(2)

福島第一原子力発電所の職場環境に対する率直な感想をお聞かせ下さい。

- 事務職などの一般職と比較して高線量なため、労働時間が短いという意味では良い労働環境だと思います。また、職場が管理区域内にあるため出退勤を厳密に管理しているため、残業代などの未払い賃金が発生しづらい点ではとてもホワイト企業だと思います。また、廃炉には長期間かかるため、失業のリスクは低い点でも健康経営企業だと思います。ですが、東電 柏崎刈羽原子力発電所と比較して、夏が長袖のため暑く、熱中症対策の一環で勤務時間が早朝からであるのはなんらかの対策を講じていただきたいです。冬にも福島第一原子力発電所に見学に行きました。その時は防護服などが暖かいため、あまり気になりませんでした。
- 単身赴任・長距離通勤をされている方が多く、大変だと感じた。話を聞いた方からは「廃炉は世界的に類を見ない事業であり、非常にやりがいがある」という話を伺い、やりがいをもって作業していることが分かった。非常時には緊急対応が求められるため、家族の理解が不可欠であることを知り、大変だと感じた。また、現場に携わる研究者やプロジェクトマネージャーに女性の姿がほとんど見られなかったことも印象に残った。肉体的な作業を担うのが男性中心であるのは理解できるが、研究や管理といった分野でも女性と出会わなかったのは、特殊な労働環境が影響しているのではないかと疑問に思った。
- 時間をズラすなど熱中症対策に力を入れていた
- 風通しが良い職場のように思った



感想、アドバイス、要望など(3)

福島第一原子力発電所の職場環境に対する率直な感想をお聞かせ下さい。

- 厳格な管理のもとで安全性がしっかりと確保されている一方で、作業員の方々の休憩施設や医療体制なども整備されており、安心して働ける環境づくりが進められていると感じました。現場の方々が互いに声を掛け合い、使命感を持って作業に取り組んでいる姿が印象的でした。
- セキュリティーや汚染対策が想像以上に厳重で驚いた。
- 廃炉という前例のないプロジェクトを進めるための緊張感と、労働環境を改善しようとする継続的な努力が共存していると感じました。
- 以前来た時より整備が進んでおり、環境が良くなっていると感じた。
- 東京電力は、福島第一原発の業務について子会社化をし過ぎているように感じた。それぞれの会社に独立性を持たせることは大切だが、うまく連携が取れていないように見えた。



感想、アドバイス、要望など(4)

大熊町・富岡町の生活環境に対する率直な感想をお聞かせ下さい。

- 住むのには大変だけれど、街はコンパクトなので、移動には困らないと思う。
- 予想以上に普通の農村地域に感じました。ただし、放置された畑を観ていると住民が戻ってきていないことを実感させられました。
- 仙台経由で帰宅したが、原ノ町などと比べると、不自然なくらい、人が暮らしている感じがなかった。また、娯楽施設等も全くないため、若者が戻ってくる環境が整うのは、ずっと先のところだなと思った。
- 一番衝撃を受けたのが同じ福島県内の郡山や会津とは違い、築年数の浅い建物が多く津波の被害がいかに甚大だったかを肌で実感できました。そんな中でも福島第一原発を中心に街の復興も行なわれているのだなと感じました。ただ15年近く経った今でもまだ復興には至っていない場所もあり、天災後の復興といった部分での課題や問題点の洗い出しやそれに向けての対応対策、また、今後の天災に対する準備といった部分についてより考えていきたいと感じました。
- 非常に過ごしやすい環境でしたが、人がそれほど多くなく復興にはまだ時間がかかると思いました。
- ホテルから歩ける距離にある店が少なく、軽食や生活雑貨を入手するのに不便だった。歩道が整備されている部分も多く、散歩やランニングをするのに良い環境だと感じた。ホテルから海沿いへ向かう道の歩道の整備や横断歩道の追加などあればより安心して周囲を散策できると思う。



感想、アドバイス、要望など(5)

大熊町・富岡町の生活環境に対する率直な感想をお聞かせ下さい。

- ・ 復興が進んでいることを実感することはできたものの、それと同時に、もっと活気のある街を目指せるのではないかと感じた。そのためにも、新規人口の参入などを目指してさらなるアクションを起こしていくべきなのではないかと感じた。
- ・ 商業施設が少なく、娯楽などが不足しているように感じた。廃炉作業に携わる人々が大勢暮らしているので、魅力的な施設があってもよいのではないか。
- ・ 自由な一人暮らしは厳しいと思いました 近隣のスーパーの閉店が19時、コンビニエンスストアは21時のため、働きながら買い物するのは厳しいと思います 社員寮に居られる間は寮内の食堂でご飯を食べられるので心配はありませんが、その後が心配です ですが、とても健康的な生活を送れるので長生きできると思います
- ・ 住宅地であった町がまばらになり、寂寥感を覚えた。事故から14年が経過した今も住民が帰還しない地域がほとんどであるということ・廃炉作業従事者も家を構えるといった事例が少ないことを考慮すると、再興する以外の選択肢を考えざるを得ない(都会の人間の思考ではあるが)と感じた。
- ・ コンビニが少ない
- ・ まだ復興が進まない現実には住民にとっては辛いもののように感じられた
- ・ 震災から10年以上が経過し、着実に復興が進んでいる様子を感じました。一方で、街並みや住民の生活の中には、なお震災の名残が見受けられ、完全な復旧には時間を要していることも実感しました。



感想、アドバイス、要望など(6)

大熊町・富岡町の生活環境に対する率直な感想をお聞かせ下さい。

- 行政主導で復興まちづくりは積極的に行われていると感じた一方、住民の多くが帰ってきていないため、震災前以上の過疎状態にあるため、民間主導のまちづくりがあまり見られなかったことが残念だった。
- 両町ともに、震災前の姿を取り戻すというよりは、新しい街を創造していく段階にあるという印象を受けました。
- 田舎であると感じた。ここで定年まで働くのは自分には難しいと思った。



感想、アドバイス、要望など(7)

全体を通じた感想や本見学をよりよくするためのアドバイス、要望などに関する記述をお願いします

- 懇親会で石川社長と話ができてとても良かったです。
- 廃炉資料館や原子力発電所を見学したのちに、伝承館へ赴いたことで、震災に対して消極的すぎず楽観的すぎない印象を感じ、真摯に震災、震災後の福島に対して向き合える機会となりました。ありがとうございました。
- 文系の自分でもかなり楽しく学習出来るような環境をご用意してくださりありがとうございました。以下要望になりますが、可能であれば施設に行く際に写真撮影が可能かどうかを、施設ごとに教えていただけると嬉しかったです。
- 今回の見学会を通じて非常に多くの衝撃を受けました。見学会に参加する前と参加した後で、事故の深刻さに対する認識や、原子力分野に携わりたいという思いがかなり変わってきました。震災による被害状況や原発の廃炉の状況を見て、他人事として捉えられない、捉えてはいけないと感じました。それと同時に、福島の方々にもう一度福島の地で笑顔になってもらえるよう、自分自身も勉強に励み、いつかは何らかの形で廃炉の仕事に携わりたいと強く思いました。今回の見学会は今後の人生設計に大きな指針となりました。3日間という短い期間でしたが、大変有意義な時間を過ごせたことに感謝しております。



感想、アドバイス、要望など(8)

全体を通じた感想や本見学をよりよくするためのアドバイス、要望などに関する記述をお願いします

- 1F事故が起こる流れや要因、事故後の周辺環境などについての理解が進み、今後生活する中で原子力関係の話題について、より深く考える材料を得ることができた。また、当時の職員の実際の考えや行動、事故が起きた要因などについて知ると、原子力に携わるにあたって、半端な心構えで関わってはいけない、と心が引き締められました。今回の見学について、ANECの働きかける対象とはズレているかもしれないが、学生だけでなく、様々な地域住民の方などにも参加していただいて、住民の方々と原子力関係者が互いに理解を深めあうとともに、学生にも様々な目線からの意見を提供すべきだと感じた。
- 実際の現場で働く人々や、燃料デブリなどの研究を行う人々、技術革新のために働く人々など、復興や廃炉の現場に関わる人々から生の話を聞くことができ、それらについての理解を深めることができました。原発で働く方々との懇親会では、業務内容だけでなく日々の暮らしなどについても聞くことができ、原発に関わる人々の暮らしについても知ることができました。また、現在の原発の姿や、富岡や双葉の街を実際に見たことで、復興の進展を実感することができたことはとても大きいことだと思えました。社員との懇親会は原発のことに留まらず、自分の進路や研究のことについても聞ける良い機会であったので、懇親会の時間をさらに伸ばしていただけると、さらに良い会になると感じました。



感想、アドバイス、要望など(9)

全体を通じた感想や本見学をよりよくするためのアドバイス、要望などに関する記述をお願いします

- 文系や他専攻などの方々にも福島第一原子力発電所の廃炉にご興味を持っていただけているところに驚きました！なので、廃炉技術はもちろん！廃炉に向けたコミュニケーションや、コストコントロールを始め経済性の管理、水化学、解析学などを統合的に学べる研修もぜひ作っていただきたいです。感想この度は、3日間にわたる貴重な研修の機会をいただき、ありがとうございました。今回の見学を通して、これまで講義で得てきた知識が、現場の複雑な現実とそこで働く方々の熱意によって、立体的で血の通ったものへと変わりました。特に、物事を多角的に捉えることの重要性和、困難な課題を乗り越えようとする研究開発の最前線を肌で感じる事ができたのは、大きな収穫です。初日、田中先生から投げかけられた「核燃料サイクルは破綻している」という言葉には、衝撃がありました。当初は、高速炉開発そのものへの反対意見だと誤解してしまいましたが、その後の中島先生のお話から、サイクル全体の課題と、それを乗り越えるための学術研究の必要性は別の次元にあると知りました。一面的な情報だけで判断することの危うさと、批判的な視点と研究的な視点の両方を持つことの重要性を痛感しました。2日目の福島第一原子力発電所視察では、その変化の速さと、変わらぬ課題の重さを目の当たりにしました。半年前に所属サークル(閃源会)で見学した際と比較して一号機の囲いが高くなり、重機も入った一般建築物の解体現場のようになっていました。また、道路脇の資材が片付くなど、廃炉作業が着実に進展している様子に希望を感じると同時に、廃炉作業が進むことによって、事故の深刻さが消えつつあることに焦りを感じました。また、東双みらいテクノロジー様からデブリ回収の説明を受けました。その構造の複雑さに驚きました。その後、休憩中に自分なりに回収方法を考えてみましたが、回収対象のデブリが人間の近づけない高線量環境下であり、BWRの特徴である制御棒が下にあるなどの構造物による障害も多いという厳しい制約の中で、いかに現在の技術をもってしてもこの作業が困難であるかを痛感しました。廃炉という道のりの険しさを、模型を前にして実感することになりました。3日目の東京パワーテクノロジー様と日本原子力研究開発機構 CLADS様の施設見学は、未来を創る技術の重要性を学ばせていただきました。東京パワーテクノロジー様に見学させていただきました。特に印象的だったのがグローブボックスの操作体験です。わずか0.4mm厚のグローブですら、まるで分厚い軍手を二重にしたかのように指先の感覚を奪い、積み木を掴むことさえ困難でした。しかし、六ヶ所再処理工場は約2倍、フランスの再処理工場は約5倍あり、恐ろしく操作がしづらいと感じました。安全性を高めるために単純に装備を頑丈にすれば良いというわけではなく、過剰な安全対策が作業性を著しく低下させ、かえって新たなリスクを生む可能性に気づかされました。他にも、遠隔操作ロボット「Spot」の完成度の高さと、その愛らしい姿にペットとして飼いたいと思うほど愛着が湧きました。また、東電全体でトヨタ自動車で導入されている『カイゼン』を導入しているそうです。また、大きなカイゼンには至っていないらしいですが、これからの大逆算を見てみたいです。CLADS様では、新しい技術や分析方法を導入し、確立する必要があるため、各機材の特徴を理解することなど研究者に要求される能力が多角化することにより、その業界のカンカクを身につけるなどの準備の難易度が高くなっていると感じました。今回の研修で得た最も大きな学びは、廃炉という巨大な国家プロジェクトが、決して一直線には進まない複雑な現実の連続であるということです。そして、その一つひとつの課題に対し、地道な研究を積み重ね、現場で試行錯誤を続ける多くの人々の熱意と技術があることを知りました。この度の貴重な経験を糧とし、これからも多角的な視点を持ちながら学びを深めていきたいと考えております。私が見学会を企画した時に東電福島第一と檜葉遠隔技術センターの見学の調整だけで半年もかかったことを考えると皆様がどれほどご尽力いただけたのかを見にしみて感じる事ができました。おかげさまで、衝撃の多い本見学会に参加できありがとうございました。最後になりましたが、本研修の実現にご尽力いただいたANEC、東双みらいテクノロジーの皆様は心より感謝申し上げます。貴団体の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



感想、アドバイス、要望など(10)

全体を通じた感想や本見学をよりよくするためのアドバイス、要望などに関する記述をお願いします

- 今回の見学は、廃炉の現状と復興の現在地を肌で感じることができる大変貴重な機会でした。報道だけでは伝わらない複雑な現実を多角的に理解することができました。
- 初日の田中先生の講演会が非常に勉強になりました。自分は原子力科に所属しており、周りの人間は新型炉開発やPM(プロジェクトマネジメント)、デコミッションに興味を持つ中、軽水炉のバックフィットに携わりたいと考え軽水炉メーカーへの就職を決めました。田中先生のお話は自分にとっては非常に有意義な内容であり、自分の既存炉運用に向き合うという選択に自信がつく内容でした。田中先生のお話を聞ける機会があれば、ぜひまた拝聴させていただきたいと思います。長袖を忘れてしまいご迷惑をおかけいたしました。差し出がましいですが、今後の参加者のためにも、見学のしおりに「持ち物」の欄を作っていたいただきたいです。
- 実際に廃炉の現場を学んだことで、様々な刺激を受けた。1Fの廃止措置に携わるという自身の目標を達成するために、今後の学習に対する意欲がより一層湧いた。3日間の見学会では時間が足りなかった。そのため、もう一度福島へ行き、学びたいと思った。
- 田中先生の講義が先生も参加者も不完全燃焼感があったため少し残念でしたでした。正直、これだけでも一企画になるぐらいとても貴重なお話だと思います。来年はオンラインなどで他の原子力専攻の方々にもお話を聞いていただき、質問がある方は次の年に本研修に参加していただくことで、ANECの人気度、知名度も高まると思います。



感想、アドバイス、要望など(11)

全体を通じた感想や本見学をよりよくするためのアドバイス、要望などに関する記述をお願いします

- 全体的に満足のいく内容であった。特に、田中先生の講演が非常に印象に残った。一見すると強烈な言葉を使うラジカルな方かと思いつつ、原子力関連産業を取り巻く状況を整理しつつ、今後解決すべき課題を分かりやすく提示されていた。同時に、自分が原子力産業を理解するうえで、火力・水力等のほかの発電産業についても理解を深める必要があると感じた(例えば、原子力発電所では核防護の観点から非常に厳しいセキュリティ対策が施されていたが、ほかの発電所ではどうなのか、ほかの発電所での事故リスクはどれほどなのかといったことなど)。原子力を知り、ほかのエネルギーを知ることで、原子力がなぜ必要なのかといった議論をさらに有効にできるのではないかと感じるができる機会であった。
- とても興味深く、これから自分自身の中で反芻していく内容とと思いました。企画実行をしていただき、ありがとうございました。
- 全体を通じて、普段見ることができない施設や設備を実際に見学でき、大変有意義な時間となりました。特に、宮城県に住みながらこれまで福島第一原子力発電所を直接見学する機会がなかったため、今回の体験は非常に貴重であり、理解を深める大きなきっかけとなりました。このような貴重な機会を設けていただき、誠にありがとうございました。
- 個人での旅行では見学できないようなところも見学することができて有意義だった。

